



本年の台風15号・19号及び、豪雨によって甚大な被害を受けられた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。被災された皆様の立場に立ち、地方・国の議員が総力を挙げ、救援復旧に取り組んで参ります。さらに、「いのちを守る」防災・減災対策を全力で推し進めて参ります。

山下浩昭は、2019年4月、皆様の温かいご支援に支えられ、三期目のスタートを切らせていただきました。今年は、大阪・東大阪において、「G20大阪サミット」をはじめ、様々な国際イベントが成功裏に閉幕しました。2025年大阪・関西万博開催目指し、これからは、飛躍の機会だと感じております。

これからも大阪・東大阪の安全・安心のため、「一人の人を大切に」・「現場第一」をモットーに、ネットワーク政党公明党の強みを最大限に活かしながら働きぬいて参ります。

## 9月定例府議会 都市住宅常任委員会で、 —台風19号をうけ、「大阪の治水対策」について知事に質問



**【知事への質問】** 今後、想定を超える規模の台風が頻発する可能性の高まりが指摘されており、今回のような台風が大阪府を通過し、大阪府内の河川が決壊でもすれば、甚大な被害が出ることは間違いない。合わせて、今回の災害においても、ハザードマップが示されていたものの、計画規模を上回る降雨に対し、避難が十分にできていない事実もあり、改めてソフト対策が重要である。

このような事態に対応するために、以下の取り組みを知事に問いました。

- ① 事前防災対策としてのハード整備について
- ② 府民の災害に対する意識啓発等のソフト対策について

**【吉村知事の回答】** 事前防災のためのハード対策が重要と認識。今後の国の動向も踏まえ、国に働きかけながら、引き続き整備を進める。非常時に、府民や事業者に対して、日常モードから災害時モードへの意識の切り替えを呼びかける「災害モード宣言」を発信することとした。平時においては、非常時に備え、市町村が行うハザードマップ作成・周知や避難訓練の実施の取組みを支援し、防災意識に関する啓発を繰り返す。

との回答を得ました。

さらに知事に対して、今回の台風における災害要因の検証を行い、大阪府において、「いのちを守る」一層のハード整備とソフト対策に取り組むように強く申し入れを行いました。委員会では、「河川対策」・「橋梁の長寿命化」・「府営公園の利便性」・「無電柱化」・「府営住宅における空き室・高齢化対策」についても質問を行いました。今後とも、更なる防災・減災対策や安心・安全施策へ全力で取り組んで参ります。

## 「交通快適都市・東大阪」を促進!



議会で何度も取り上げてきた、(旧)中央環状線と大阪瓢箪山線が交差する八戸ノ里駅前交差点・北側の西行きレーン設置と東大阪市文化創造館前の(旧)中央環状線延長150メートル区間の拡幅工事がほぼ完了し、渋滞緩和と歩行者の安全対策が進みました。これからは、「交通快適都市・東大阪」に全力で取り組んで参ります!



▲八戸ノ里駅前交差点レーン設置



▲文化創造館前府道の拡幅

## 一生に一度の戦いが花園で開催! ラグビーワールドカップ2019™日本大会が成功裏で閉幕!



▲東花園駅床面装飾より

大阪府と東大阪市とで、機運醸成や安全な大会運営に取り組んで来た「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」のうち、プール戦4試合が、東大阪市花園ラグビー場で開催されました。

日本代表の健闘は、日本におけるラグビーへの注目度を高め、東大阪市を含む府内の各処でも大いに盛り上がりを見せました。2021年に開催されるワールドマスターズゲームス関西においても、東大阪市でラグビーが開催されます。今後とも、大阪府・東大阪市のスポーツ振興に、取り組んで参ります!